

# 研究集会 「環論とその周辺」 第一報

日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)(研究代表者: 大城紀代市(山口大学大学院理工学研究科))による上記シンポジウムを、下記の要領で開催いたします。

## 開催趣旨

環論の研究はアルティン環やネータ環の構造論的研究に加群論的な研究手法を導入して成果を出した時代から、表現論や代数幾何等の周辺分野から動機を取り入れ研究を行う傾向が、近年ますます顕著に表れています。そこでこの研究集会では、叢の表現論と量子群、導来圏の傾斜理論、対称群の Broué 予想、Cohen-Macaulay 表現、非可換代数幾何等のトピックスに関して、環論とその周辺分野の研究者が、初歩から基礎知識を得ることにより、今後の研究手法を学び合うことを目的として開催するものです。多くの方が出席されて活発な議論をされることを期待します。

プログラム責任者 佐藤眞久 (山梨大学)、花木章秀 (信州大学)、伊山修 (名古屋大学)

## 講演予定

大城紀代市 (山口大学) アルチン環  
斉藤義久 (東京大学) 叢と量子群  
高橋篤史 (京都大学) Matrix factorization とミラー対称性  
飛田明彦 (埼玉大学) 対称群のブルエ予想  
宮地淳一 (東京学芸大学) 傾斜理論入門  
毛利出 (静岡大学) 非可換代数幾何  
吉野雄二 (岡山大学) Cohen-Macaulay 表現入門

— 記 —

期間：2006年11月3日(金)～6日(月)

会場：3日～5日 名古屋大学多元数理科学研究科理1号館509号室

6日 名古屋大学シンポジオン

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院多元数理科学研究科

交通案内は <http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/direction/>

会場周辺地図は <http://www.nagoya-u.ac.jp/info/profile2005/p23-map-all.html>

などを御覧下さい

会場責任者：伊山修 (名古屋大学)

プログラム責任者：佐藤眞久 (山梨大学)、花木章秀 (信州大学)、伊山修 (名古屋大学)

懇親会：11月4日(土) 夕刻